

曲目紹介

Maronette ステージ

■ 暗いはしけ

1954年、仏映画『過去を持つ愛情』でFADOの女王アマリア・ロドリゲスが歌い、世界的にヒットした名曲。マリオネットは、'03年NHK名曲アルバムソロを担当した。

■ 唐街雨情

原曲は、2007年NHKラジオ「深夜便のうた」で、アルゼンチン出身の歌手グラシェラ・スサーナが歌った(作詞・湯浅)曲のテーマはポルトガルとも縁が深い長崎。和・漢・洋が入り交じるエキゾチシズムは、日本人が弾く「ポルトガルギター」、つまり、「南蛮ざたるら」が目指す世界観。この曲はそのささやかな成功例と自負している。

■ 南蛮渡来

1543年、鉄砲伝来に始まる大航海時代の歴史ロマン(西洋と東洋の出逢い)を表現。'93年NHK京都TV「南蛮美術の魅力」テーマ曲、'93~'94年「沢の鶴」TVCM曲、マカオ観光局テーマ曲。

■ もどり猫のシャンソン

パリの街角で出会った若いコケティッシュな女の娘に恋をする中年男。そんな悲喜こもごものストーリーのフランス映画を想像(妄想?)して作曲。

■ せせらぎの小道

高知県の梶原(ゆすはら)は「雲の上の町」の別名がある山深いところ。そこにあるセラピーロードをテーマに、豊かな自然の中で様々な思いを巡らすイメージで作曲。

■ 花の葬列

死と再生がテーマ。若くして事故で命を落とした友人のアーティストに捧げた曲。ギターのタンボーラが印象的で力強い。

*** *** *** ***

合同ステージ

■ 舞い落ちてきた天使

マンドリンのトレモロを生かしたメロディアスなバラード。湯浅隆による歌詞もあり、平和を願う曲。マリオネットのCDアルバム「エグジチカ・ドラマチカ」に収録されている。楽譜としてはオリジナルのデュオ版(マンドリン+ギター)の他、女声合唱付きなどマンドリン合奏用のいくつかのバージョンが出版されている。

■ Voyage! 世界各国ポピュラー曲メドレー

2014年9月に行われた旅行業界の一大イベントに際して、東京国立博物館前庭で300人規模の「マンドリン大合奏」を行う計画があり、短い準備期間にも関わらず定員を上回る数の奏者が集まり実現を目前にしていたが、悪天候により惜しくも中止となった。その時に世界各国からのお客様をもてなすための演奏曲目として15か国の20曲を約15分のメドレーにしたもの。マンドリンの生まれ故郷とされるイタリアから始まり、ヨーロッパ、アメリカ大陸など世界を巡り、最後は日本で締めくくっている。